



学校教育目標 「心身ともに健康で、個性豊かな実践力のある子どもを育てる」

～ 困いさつ 図うじ べんきょう 3つの「あそべ」をがんばろう ～

◇明けましておめでとうございます◇

新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。保護者や地域の皆様には、本年も本校教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

さて、新しい年を迎えましたが、後期の後半（1～3月）は、それぞれの学年のまとめとともに、次の学年への準備をする大切な締めくくりの時期です。これまでを振り返って「自分ができるようになりたいこと」「頑張りたいこと」を整理し、その中から自分の「めあて」を決めていってほしいと思います。自分一人で「めあて」決めることが難しい場合もありますので、ご家庭でも一緒に考えたり、話し合う機会をつくったりしてみてはいかがでしょうか。「めあて」の目標が高すぎると始めから「どうせできっこない！」という気持ちになってしまったり、周りの大人が勝手に「『めあて』を決めておいたから、しっかりやりなさい！」などとなってしまったりではなく、子どもの「うん、がんばる！」という気持ちを引き出すようにしていただければと思います。

そして学校行事では、3月に1年間の中でも最も大切な「卒業式」が予定されています。特に6年生にとっては最後の学校行事になります。素晴らしい思い出になるように準備を進めていきたいと考えています。これから寒さも厳しくなっていますが、子どもたちの元気に負けないように、しっかりと教育活動を進めていきたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

◇一年の始まりに◇

新しい年の始まりに、8日（火）の冬休み明け放送集会で、次の3つの話をしました。

① 新年に心の「構え」を持つ

昔から人々は新年の挨拶とともに、今年は「しっかり勉強を頑張ろう」とか「早起きをして体を鍛えよう」といった一年の心の「構え」を持ちました。心の「構え」を持つとは自分の心と体に約束をすることです。「早起きをしよう」と思っている毎日続けることは簡単ではありません。「昨夜は遅くまで起きていたから」「今朝は寒いから」等、言い訳をしたくなることは誰にでもあります。これは一度決めた自分との約束を破ることです。ところが、そんな気持ちを押しつけて頑張っていると、早起きすることのすがすがしさや朝食のおいしさに気がついたり、朝早くから仕事をしている人がいることにも気がついたりするようになります。心の「構え」を持ち続けると、色々なことに気がついたりするだけでなく、強い心や我慢、努力する力が育ちます。

② 一日一日を大事にして「充実した学校生活」を送ろう

私たちの生活は一見、単調な繰り返しのように見えますが、その一日一日は「繰り返しのきかない繰り返し」です。私たちの生活はいつもワクワクするような出来事ばかりではなく、むしろこまごまとした「雑用」の方が多いものです。かといって、これらの事を雑にしてよいということではなく、むしろ「雑用」は人間が雑な行いをすることで生じるものです。やり直しをしなくてもいいように、丁寧に一日一日を積み重ねていくことが「充実した生活」につながるのではないのでしょうか。

特に6年生の子どもたちには、卒業式までの残り少ない50日間を、中学校生活へのステップアップのために丁寧に過ごしていってほしいと願っています。

③ 「一秒の言葉」を大切に

だれでも「ありがとう」と言われると、何か心が温かくなり、そんな言葉をかけてくれた「相手のやさしさ」を感じます。「頑張って」と言われると、何かできるような気がして「勇気が湧いてくる」ことがあります。

友達とけんかしても「ごめんなさい」と言われれば「友だちも困っていたんだ」と相手のつらさや弱さを理解して許してあげようと思います。こういった言葉は、たった「一秒の言葉」ですが、相手を元気にする言葉です。たくさんの人と生活する学校では、友だちとうまくいかなかったり、自分の思い通りにならないことがよくあります。そんな時、すぐに人のせいにしてたり、悪口をいったりするのではなく、「ありがとう」「頑張ってる」「あなたのせいじゃないよ」「ごめんなさい」と、相手を思いやる「温かい言葉」を大切にしてほしいと思っています。・・・という話をしました。

右の詩は、現在、絵本作家として活躍する小泉吉宏さんの詩で、1984年にラジオCMとして制作され、翌1985年の大晦日の「ゆく年くる年」で1回だけ放送されたとても有名な詩です。

放送後には、その短い言葉に打たれた人達の反響が広がり、平成20年6月10日の時の記念日にリメイク版が放送されました。一秒に満たない言葉に人は様々な心や思いを込めていることが感じられる作品です。

◇防災とボランティアの日◇ 1月17日

1月17日は「防災とボランティアの日」です。防災というと2011年の地震と津波で1万8000人以上の方が亡くなったり、行方不明になったりした「東日本大震災」を思い浮かべますが、この「防災とボランティアの日」は1995年1月17日未明に発生した「阪神・淡路大震災」にちなんで制定されたものです。

この地震では約6400人の方が亡くなり、三重県でも震度3～4の揺れを記録しました。なかなか救助が進まない中、学生を中心としたボランティア活動が活発になり、多くの人の救助や建物の復旧に力を尽くし、「日本のボランティア元年」と言われました。全国から集まった人が見ず知らずの人を助けるという事は当時はあまり行われていませんでした。そこで、災害に備えることを忘れないようにしようという事で1月17日を「防災とボランティアの日」に定められました。また、この日を中心に前後3日を含む計7日（1月15日～21日）が「防災とボランティア週間」と定められています。災害は繰り返されます。自然の前には人間は弱い存在ですが、これからも小さな力でも協力して大きな力にする気持ちが大切です。1月17日には改めて防災について家庭でも話し合ってみてください。

◎音楽室・家庭科室・理科室の改修工事が始まりました。

冬休み中に2階の2年C組の教室前の手洗い場の外壁を壊し、特別教室棟との通路をつなげる工事を行いました。また、1月7日からは音楽室・

家庭科室・理科室の改修工事が始まりました。3月中旬の完成に向けて、急ピッチで工事が行われます。



『一秒の言葉』

小泉吉宏

「はじめまして」

この一秒ほどの短い言葉に、一生のときめきを感じることもある。

「ありがとう」

この一秒ほどの短い言葉に、人のやさしさを知ることがある。

「がんばって」

この一秒ほどの短い言葉に、勇気がよみがえってくることもある。

「おめでとう」

この一秒ほどの短い言葉に、幸せにあふれることがある。

「ごめんなさい」

この一秒ほどの短い言葉に、人の弱さを見ることもある。

「さようなら」

この一秒ほどの短い言葉が、一生の別れになるときがある。

一秒に喜び、一秒に泣く。一所懸命、一秒。

【1月の予定】

8日（火）登校指導・冬休み明け放送集会
給食開始・5限授業
学年下校 14:40

9日（水）身体計測（2・3・4・6年生）

10日（木）身体計測（1・5年生）

16日（水）集金日

21日（月）委員会・図書館まつり（～2月1日）

23日（水）6年生租税教室

24日（木）1年生4幼保との交流 10:00～11:00

28日（月）学力補充日

31日（木）5年生みえスタディチェック・月掃除

学校の様子「トピックス」や「学校たより（カラー版）」、1年間の行事予定、今日の給食、PTAからの連絡などは、伊勢市立明野小学校のホームページもぜひご覧ください。